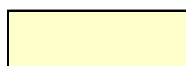


補助金交付申請書 記入例

この記入例では、入力方法の種類ごとに色分けして説明しています。



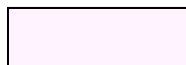
黄色は 交付申請者が入力する項目です



緑色は 自動で入力される項目です



青色は 建築士が入力する項目です



桃色は 手書きで記入する項目です



灰色は 事務局で使用する欄です

補助金交付申請書（交付申請番号入力シート）記入例

＜認定長期優良住宅型・補助率方式、高度省エネルギー型・補助率方式＞

交付申請書を作成するためには、まず事業者ポータルサイトで事業者登録と住宅登録を行ってください。

※この入力シートは提出の必要はありませんが、必ず確認・入力をしてください。入力をしないと他の様式類の計算が正しく表示されません。

＜交付申請番号入力シート＞（交付申請番号と*番号を入力）

- 1 交付申請番号と*番号を入力

交付申請番号と*番号は、事業者ポータルサイト「令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業」に掲載されています。

認定長期優良住宅型の場合は「2」
高度省エネルギー型の場合は「3」が付番されています

交付申請番号										管理番号	
年度	事業者番号						住宅番号	*	※支援室記入欄		
03	2	8	X	X	X	X	001	3			

※ここに入力した交付申請番号と*番号は各様式の上部に反映されます。

※ 交付申請番号はポータルサイトからダウンロードした様式1の右上に記載されていますので転記してください。

※ ※ここに入力がない場合、他の様式類の計算が正しく表示されません。

いただきます。

交付申請番号や様式の記入事項に間違いがないか、もう一度確認してください。

- 2 「申請タイプ」「事業タイプ」を確認してください。

申請タイプ	通年申請タイプ
事業タイプ	高度省エネルギー型

「申請タイプ」「事業タイプ」が予定している交付申請と異なる場合は、住宅情報の登録に間違いがありますので、もう一度住宅情報を登録してから補助金交付申請書をダウンロードしてください。

必ず確認してください

- 3 評価基準等の審査について

この申請は、長期優良住宅（増改築）認定に係る評価機関の「技術的審査適合証」と「BELS評価書」の添付が必要です。交付申請時まで技術的審査適合証の取得（直接認定申請書を受け付ける行政庁の場合は、認定通知書を取得）と、BELS評価書を取得してください。

- 4 注意事項

- (1) 提出書類に不足はありませんか。
次のシートの「提出書類チェックシート（交付申請用）」で確認してください。
揃っていることを確認したら「チェック欄」に印を付け、**交付申請書と一緒に提出**してください。
- (2) 作成した**様式データの最終版は、必ず保存**してください。
事業タイプに応じて、交付申請時に作成した様式5、様式5の2、様式5の3、様式8、様式8の2、様式8の3を**完了実績報告時に使用**します。

補助金交付申請書（様式1）記入例 ＜認定長期優良住宅型・補助率方式、 高度省エネルギー型・補助率方式＞

事業者ポータルサイトからダウンロードし印刷してください。

この記入例でセルが緑色になっている部分は自動入力されます。
記載に誤りがある場合は事業者登録システムの情報を修正し、
印刷し直してください。

様式1

事業タイプ	交付申請番号										管理番号									
	年度	事業者番号						住宅番号	*	※支援室記入欄										
高度省エネルギー型	0	3	-	2	8	X	X	X	X	-	0	0	1	-	3	-				

申請日 令和 3 年 6 月 0 日

↑ 提出日を記入してください。

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金交付申請書

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業に要する費用について、補助金交付規程第5の規定により、関

提出する年月日を油性のボールペンで記入してください

記

交付申請者（補助事業者） 【リフォーム事業者（法人）】

法人・個人事業主等の名称	フガナ カブシキカイシャ			支店・事業所名	フガナ ○○支店	
代表者	氏名	フガナ ○○ □□	役職等	代表取締役	代表者印 (個人事業者の場合は実印)	
法人・団体等の住所	〒	123 - 4567	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇 △ビル〇F			
電話番号	012-345-****	法人番号	123456789****			

法人の場合は会社の代表者印です。代表者の個人印ではありません。

交付申請額

3,000 千円

様式6の右下に算出された交付申請額を記入してください

法人の場合は会社の代表者印を押印してください
(個人事業者の場合は実印)

交付申請する住宅の所在地等

住宅の所在地(住居表示)	〒	123 - 4567	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇		
建物名称				部屋番号	
建物の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅			<input type="checkbox"/> 店舗等併用住宅	<input type="checkbox"/> 共同住宅・長屋(<input type="checkbox"/> 一棟申請 <input type="checkbox"/> 住戸申請)

工事発注者（共同事業者） ※補助事業者が買取再販業者の場合は記入不要です。

名称・氏名	フガナ ●● □□	安心R住宅
	●● □□	<input type="checkbox"/> 売主 <input type="checkbox"/> 買主
住所	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇	
建物名称		
	部屋番号	

補助事業の概要

様式4のとおり

事業完了の期日

令和 3 年 11 月 20 日

工事請負契約による完了引渡し日または完了実績報告提出期限のいずれか早い日を記入してください

(備考)

事業者登録日

令和3年4月15日

住宅登録日

令和3年5月20日

(注意事項)

1. 交付申請書は、1住戸（共同住宅・長屋で建物の全体の工事を含む場合は1棟）につき1枚作成してください。
2. 修正液、訂正印での修正はできません。記載事項に誤りがある場合は、事業者登録システムの情報を修正し、再度印刷してください。
3. 記入、押印漏れ、提出書類の不足がある場合は、交付申請の受付は行いません。
4. 申請日の記入が漏れていた場合は、交付申請書の到着日を申請日として扱います。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式2）記入例 ＜認定長期優良住宅型・補助率方式、 高度省エネルギー型・補助率方式＞

甲と乙は、本規約を3通作成し、2通をそれぞれ保管するものとし、1通を実施支援室に提出してください。
申告内容に虚偽等が存することが判明した場合は、本補助金交付申請に係る補助金交付決定が取り消され、交付された補助金を返還することになります。
甲と乙は、虚偽の申告を行うことで相手に損害を与えた時は、当該損害についてその責任を負うことになります。

※買取再販業者が交付申請者の場合は「様式2」は提出不要です。

事業タイプ
高度省エネルギー型

交付申請番号

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

交付申請者 名称 **株式会社〇〇工務店** (印)
(施工業者) 代表者 **〇〇 〇〇**

甲(工事発注者)と乙(施工業者)は、令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業(以下、「本事業」という。)に対する補助金(以下、「本補助金」という。)の交付を受けるため、以下の共同事業実施規約(以下、「本規約」という。)に従って補助事業を実施するものとして、届け出ます。

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業 共同事業実施規約

(要件等の確認)
第1条 甲と乙は、本補助金の交付規程、マニュアル等をよく参照し、それぞれ交付対象の要件に合致する旨を確認し、要件に反する事項があることを知った場合、すみやかに相手に通知する義務を負う。
2 甲と乙は本規約の締結をもって、以下の(イ)から(ニ)の全ての事項について、了解したものとす。
(イ) 本補助金の補助対象となるリフォームについて、国費が充当された他の補助金との併用は行わないこととする。併用が認められる場合は、併用する補助金の交付規程等を確認し、併用が可能であることを事前に確認すること。
(ロ) 本補助金を受けた住宅(以下、「住宅」という。)について善良な管理者の注意をもって管理し、その効率的な運用を行わなければならないこと。
(ハ) 甲は、住宅の引渡しから10年間、支援室の承認なく、補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡、賃貸、または担保に供するものを除く。また、甲は、住宅の引渡しから10年以内に、承認を得ずに住宅以外への用途変更や取壊しを行った場合は、交付した補助金を返還するものとする。

交付申請書に添付する1通にはこの欄に記名押印をしてください

様式1(事業者登録情報)に記載の「交付申請者」欄と同じ内容を入力してください

※印鑑は様式1の代表者印と同一の印鑑を使用してください

甲乙それぞれにチェックしてください

「有り」にチェックした場合は「様式2の2」も作成してください

甲乙が「関係会社」に該当する場合は「該当する」にチェックし、関係会社以外の者を含む三者以上からの見積もりを提出してください

国から本事業に係る補助金の交付を受けた年度終了後5年以内(国の補助金については報告されるほか、国、地方公共団体および国の他の補助金等との併用が認められる場合、これらの機関に提供されることがあり、また当該個人情報に開示されること)に、交付した補助金を返還するものとする。

(甲告)
第2条 甲と乙は、本補助金の交付申請が制限される以下の(イ)から(ハ)の事項への該当の有無について、乙(乙は、その役員等(実質的に経営に関与する者を含む。))を含むものとする。
(イ) 平成30年度以降、国土交通省住宅局が所轄する他の補助事業において、本補助金の交付による補助金の返還を求められたこと

甲 (有り 無し) 乙 (有り 無し)

(有りの場合の返還補助金の概要は別紙による)

(ロ) 甲乙の関係が交付規程第5第4項及び第5項に規定する関係会社等に該当する(該当する(三者見積を提出) 該当する(単価積上方式により申請) 該当しない)

(ハ) 専任役員又は専任役員であること及び専任役員又は専任役員との不適切な関係にあること
甲 (該当有り 該当無し) 乙 (該当有り 該当無し)

甲乙それぞれにチェックしてください

(ロ)の「交付規程第5第4項及び第5項に規定する関係会社等」とは、以下に当たる場合を指します。

- 一 100%同一の資本に属するグループ企業
- 二 補助事業者の関係会社(財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則第8条第8項で定めるもの。前号を除く。)
- 三 補助事業者の役員である者(親族を含む)又はこれらの者が役員に就任している法人

3 甲は、乙の行う手続きに協力するものとする。
(補助金の還元)
第4条 乙が代表して本補助金の交付を受けたとき、乙は受領した当該補助金相当額について、直ちに以下の方法により甲に還元するものとする。

(締結時にいずれか選択すること)
 現金の支払い
 甲の乙に対する債務と相殺(当該債務は、本制度により交付が見込まれる補助金額について、甲が乙に支払うべき工事代金から、支払いを猶予することにより生じるものであり、本規約によって甲と乙が同意するものである。)

どちらかにチェックしてください

住宅の売主である場合、甲は、前項により還元された補助金相当額について、当該住宅の購入者が支払うべき住宅ローン等(以下、「住宅ローン等」という。)の返済に充てるものとする。

様式1又は契約書と同じになります

第5条 乙は、本補助金の交付が受けられない、または交付が見込まれる補助金額が減額されることを知った場合、遅滞なく甲に通知し、双方で誠実に協議を行うものとする。

甲と乙は、本規約を3通作成し、2通をそれぞれ保管するものとし、1通を実施支援室に提出する。

工事着手までに締結してください。

令和3年 6月 〇日

【甲】工事発注者
住所 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇〇丁目
△番地〇〇
氏名 〇〇 〇〇 (印)

【乙】施工業者
住所 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇〇丁目
△ビル〇F
名称 株式会社〇〇工務店
代表者 〇〇 〇〇 (印)

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

契約が連名の場合は2名分の氏名・押印が必要
※印鑑は契約書と同一の印鑑を使用してください

住所は住居表示で都道府県から入力してください
甲乙それぞれが記名押印してください
※印鑑は契約書と同一の印鑑を使用してください

補助金交付申請書（様式2の2）記入例
＜認定長期優良住宅型・補助率方式、
高度省エネルギー型・補助率方式＞

「様式2」の共同事業実施規約 第2条(イ)で「有り」に
チェックした場合は提出が必要です。

様式2の2

事業タイプ
高度省エネルギー型

交付申請番号	年度		事業者番号				住宅番号				
	0	3	2	8	X	X	X	X	0	0	1

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業 共同事業実施規約（別紙）

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業共同事業実施規約第2条(イ)により補助金の返還がある場合の返還補助金の概要は次のとおりです。

補助事業者の名称	●● □□
事業名	平成○年度○○推進事業補助金
返還命令日	平成 ○年 ○月 ○日
返還日	平成 △年 △月 △日
返還額(円)	000,000円
返還事由	○○の要件違反

漏れなく入力してください

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式3）記入例 <認定長期優良住宅型・補助率方式、 高度省エネルギー型・補助率方式>

交付申請者が買取再販業者である場合は提出が必要です。

申告内容に虚偽等が存することが判明した場合は、本補助金交付申請に係る補助金交付決定が取り消され、交付された補助金を返還することになります。

※施工業者が補助事業者の場合は「様式3」は提出不要です。

事業タイプ 高度省エネルギー型	交付申請番号	年度 0 3	事業者番号 - 2 8 X X X X	住宅番号 - 0 0 1	様式3
---------------------------	--------	-----------	------------------------	-----------------	-----

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

様式1（事業者登録情報）に記載の「交付申請者」欄と同じ内容を入力してください
 印鑑は様式1の代表者印と同一の印鑑を使用してください

交付申請者 (買取再販業者)	住所	〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目〇
	名称	株式会社〇〇住販
	代表者	〇〇 ▲▲▲

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業 買取再販に係る誓約書

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業（以下、「本事業」という。）に対する補助金（以下、「本補助金」という。）の交付を受けるため、本誓約書の内容に従って補助事業を実施するものとして、届け出ます。

(要件等の確認)

(ロ)の“交付規程第5第4項及び第5項に規定する関係会社等”とは、以下に当たる場合を指します。

- 一 100%同一の資本に属するグループ企業
- 二 補助事業者の関係会社（財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則第8条第8項で定めるもの。前号を除く。）
- 三 補助事業者の役員である者（親族を含む）又はこれらの者が役員に就任している 法人

除く。なお、本事業によりリフォーム工事を実施した住宅について、補助事業完了後10年以内に、承認を得ずに住宅以外への用途変更や取壊しを行った場合は、交付した補助金の全部又は一部を返納すること

(二) 提出した個人情報は、支援室が国から本事業に係る補助金の交付を受けた年度終了後5年間保存され、本補助金の目的の範囲内で国土交通省の求めに応じて報告されるほか、国、地方公共団体および国の他の補助事業実施上の要請に基づき、これらの機関に提供されることがあり、また当該個人情報に

「有り」にチェックした場合は下表の返還補助金の概要を入力してください

(申告)

第2条 本補助金の交付申請が制限される以下の(イ)から(ハ)の事項への該当の有無について、以下(イ)から(ハ)については、役員等(実質的に経営に関与する者を含む。)を含みます。

(イ) 平成30年度以降、国土交通省住宅局が所轄する他の補助事業において、本補助金の交付規程第13条の規定に相当する理由で補助金の返還を求められたこと
 (有り 無し (有りの場合の返還補助金の概要は下記による))

(ロ) リフォーム工事の施工業者が、交付規程第5第3項及び第4項に規定する関係会社等に該当すること
 (該当する(三者見積を提出) 該当する(単価積上方式により申請) 該当しない)

(ハ) 暴力団又は暴力団員であること、及び暴力団又は暴力団員との不適切な関係にあること
 (該当有り 該当無し)

どちらかにチェックしてください

甲乙が「関係会社」に該当する場合は「該当する」にチェックし、関係会社以外の者を含む三者以上からの見積もりを提出してください

上記第2条(イ)により補助金の返還を求められたことがある場合の返還補助金の概要は次のとおりです。

補助事業者の名称	
事業名	
返還命令日	年 月 日
返還日	年 月 日
返還額(円)	
返還事由	

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式4）記入例
 <認定長期優良住宅型・補助率方式、
 高度省エネルギー型・補助率方式>

様式4

●共通の項目は漏れなく入力してください

申請番号	年度	事業者番号	住宅番号
03	-	28XXXXX	-001

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

交付申請概要書

●共通

構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> 木造一部RC造 <input type="checkbox"/> その他()
階数	地上 2 階 地下 階建て
築年数	39 年
今回リフォーム時の増築・減築の有無※	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 増築部分の面積 3.31 m ² → <input type="checkbox"/> 確認申請有り → 減築部分の面積 m ² → <input checked="" type="checkbox"/> 法適合性の確認済み
新築時以降の増築・減築の有無※(上記を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → 増築部分の面積 m ² → <input type="checkbox"/> 確認申請有り → 減築部分の面積 m ² → <input type="checkbox"/> 法適合性の確認済み
非住宅部分の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 非住宅部分の面積 29.85 m ²

以下は各項目に該当する場合に入力してください

以下は、該当する欄を記入してください

●補助限度額50万円の加算対象者の場合 ※買取再販業者は50万円加算対象外です。

<input type="checkbox"/> 既存住宅購入に伴って実施する	住宅の売買契約の締結日	年 月 日
<input checked="" type="checkbox"/> 若者(40歳未満)である	令和3年4月1日時点での発注者の年齢	36 歳
<input type="checkbox"/> 子育て世帯(18歳未満の子を有する世帯)である	令和3年4月1日時点または、申請日時点での子の年齢	歳

↑該当する場合にチェック(■)

●高度省エネルギー型の場合

A 単位面積当たりの一次エネルギー消費量の設計値(その他除く)	668 (MJ/m ² ・年)	【太陽光発電を設置していない場合】 A/B ≤ 0.8 【太陽光発電を設置している場合】 (A+C)/B ≤ 0.8
B 単位面積当たりの一次エネルギー消費量の基準値(その他除く)	1131 (MJ/m ² ・年)	
C 太陽光発電による削減量	(MJ/m ² ・年)	
		0.60 判定 OK

OKであることを確認してください

●安心R住宅の場合

<input type="checkbox"/> 対象住宅の売買前に売主が実施したリフォームで、国の補助を受けている	BELSの評価書の結果から転記してください	交付申請時の住宅番号を記入
↑該当する場合にチェック(■)		

●共同住宅、長屋の一棟申請を対象とする場合(事業タイプ共通)

申請全体の棟数	棟 (住棟の数とし、エキスパンションジョイントで接続している一の建物は1と数える)	
住棟番号	住棟全体の住戸数...①	①のうち要件を満たしている住戸数...②
	戸	戸
	戸	戸
	戸	戸
	戸	戸
	戸	戸
	戸	戸
合計	0 戸	0 戸

※「②/① > 0.5」であること。

記入欄が足りない場合は支援室にご連絡ください。

助対象工事費は「②/①」で割合「A」を求め、

補助金交付申請書（様式5）記入例 <認定長期優良住宅型・補助率方式、 高度省エネルギー型・補助率方式>

・共同住宅、長屋の一棟申請の場合、様式4の住棟番号を入力してください
 ・複数棟をまとめて1つの申請とする場合は、住棟ごとに作成してください

リフォーム工事完了後、記載されたとおりにリフォームが行われたことを建築士が現地確認等する必要があります
 （交付申請時には未入力でも提出してください）

事業者番号				住宅番号			
-	0	0	0	0	0	0	0

※交付申請番号は「交付申請書」の「シート」に入力してください。

様式5

性能向上リフォーム工事内容一覧表（補助率方式用）

特定性能向上リフォーム工事

共同住宅の外庫部分の申請を含む場合に記入

番号	性能項目	リフォーム工事箇所	リフォーム工事内容 (仕様、工事の方法を記載)	リフォーム工事が性能の向上となる理由	工事内容明記の図面名・番号	工事別補助対象工事費(円)	工事内訳書記載頁	工事完了時建築士チェック欄
1	①	浴室	■ JIS A4416に規定する浴室ユニットバス化	共同住宅・長屋の1棟申請で設置する住戸数	1 戸 平面図	379,890	9	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
木造住宅で劣化対策工事にユニットバスを設置する場合はこの欄に補助対象工事費(ユニットバス設置工事費)を記入 ↑ 様式6 D欄に記入								
2	①	外壁	外壁温気積造化		平面図、短計図	1,323,630	1, 2	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	①	軸組、土台	防蟻防腐薬剤塗布		平面図、立面図	162,000	3	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
4	①	小屋根、床下	点検口設置		平面図、立面図	37,200	4	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
5	②	構造躯体	耐震補強工事(耐力壁設置、新規基礎工事)		平面図、立面図	4,189,967	5	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
6	③	天井、壁、床	断熱材敷設工事		平面図、立面図	228,096	6	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
7	③	開口部	サッシの断熱化		平面図、立面図	783,504	7	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
8	③	給湯設備	蓄熱回収型給湯器の設置		平面図、立面図	237,504	8	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
9	④	専用配管	排水管の更新		平面図、給排水系統図	159,200	9	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
						上記合計(UB除く)	7,121,101	→様式6 C1欄に記入

上から順番に連番で番号を振ってください。

この番号を内訳書の該当項目と図面のリフォーム箇所に記してください。

「特定性能向上リフォーム工事」は評価基準等に適合させるための性能向上を図るリフォーム工事及びその附帯工事です。
 原則、基準に適合していない状態から適合する状態へのリフォームが対象となります。

工事内容ごとに工事費を入力します。
 (増築部分・非住宅部分は除いた額とし、全体に係る現場管理費・値引き等は按分して計上してください。)

※税抜き・円単位で入力

↑ 性能項目①～⑥を入力してください。

性能項目	①構造躯体等の劣化対策	②耐震性	③省エネルギー対策	④維持管理・更新の容易性	⑤高齢者等対策(非住宅等の場合)	⑥可変性(共同住宅及び長屋の場合)	合計(UB除く)(円)
補助対象工事費	1,522,830	4			0	0	7,121,101

該当する記号をリストから選択してください。
 例：バ：バリアフリー改修
 テ：テレワーク改修
 他：上記以外(インスペクションの指摘対応など)

その他性能向上リフォーム工事

番号	リフォーム工事箇所	補助対象とする場合はチェック	リフォーム工事内容 (仕様、工事の方法を記載)	リフォーム工事が性能の向上となる理由	工事内容明記の図面名・番号	工事別補助対象工事費(円)	工事内訳書記載頁	工事完了時建築士チェック欄	
10	浴室	<input type="checkbox"/> JIS A5532に規定する高断熱浴槽の設置	共同住宅・長屋の1棟申請で設置する住戸数	1 戸	平面図	379,890	9	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
ユニットバス設置に伴い高断熱浴槽を導入する場合はこの欄に補助対象工事費(ユニットバス設置工事費)を記入 ↑ 様式6 G欄に記入									
11	専用配管		給水管の更新	他 インスペクション指摘対応(赤水・濁水)	平面図、給排水系統図	231,418	9	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
12	屋根		防水層の劣化補修	他 インスペクション指摘対応	平面図、立面図	478,638	1	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
13	階段		手すり設置	バ バリアフリー改修	平面図	50,000	10	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
						上記合計(UB除く)	860,056	→様式6 F1欄に記入	
バ		バリアフリー改修	50,000	テ	テレワーク改修	100,000	他	その他	710,056

「その他性能向上リフォーム工事」は、「特定性能向上リフォーム工事」以外の工事であって住宅の性能向上に資するリフォーム工事及び附帯工事です。
 インスペクションにおいて確認された劣化事象として本事業で指定する現況検査チェックシートにおいて劣化事象が指摘された項目の補修工事は「その他性能向上工事」に含まれます。
 (オプション項目に係る指摘の補修は補助の対象外です)

(注意事項)

1. 工事別補助対象工事費は、増築部分、非住宅部分は除いた額とし、全体に係る現場管理費、値引き等は按分した額を含めて記入してください。
2. リフォーム工事箇所毎の番号を設計図及び工事費の内訳書にも必ず記載して、上記に記載したリフォーム工事の箇所が特定できるように明確にしてください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式5の2）記入例

<認定長期優良住宅型・補助率方式、高度省エネルギー型・補助率方式>

・共同住宅、長屋の一棟申請の場合、様式4の住棟番号を入力してください
 ・複数棟をまとめて1つの申請とする場合は、住棟ごとに作成してください

間口寸法を記入し、キッチンの種類を選択してください。
 ※この欄にチェックを入れないと、自動計算されませんので必ず入力してください。

リフォーム工事完了後、記載されたとおりにリフォームが行われたことを建築士が現地確認等する必要があります
 （交付申請時には未入力でも提出してください）

様式5の2

年度 0 3 - 2 8 X X X X - 0 0 1
 ※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

三世帯同居対応改修工事内容一覧表（補助率方式用）

住棟番号

番号	対象となる工事の内容	キッチン本体の間口を入力	工事内容明記の図面名・番号	工事別補助対象工事費(円)	工事内容・工事費の内訳書記載頁	工事完了時建築士チェック欄
調理室の増設工事						
何れかを選択「ミニキッチン以外」「ミニキッチン」						
⇒キッチンの種類 ミニキッチン以外 ⇒ キッチンの間口 2,250 mm						
K①	■ 台所流しの設置工事 ■ ガスコンロ若しくはIHクッキングヒーターまたはコンロ台の設置工事		平面図	534,666	9	□ 通 □ 否
K②	■ 給排水設備工事 ■ 換気設備工事 □ ガス工事 □ 給湯設備設置取付工事		平面図、給排水系統図	559,827	14	
K③	□ 電気工事 □ 照明設備工事					
K④	□ 内装・下地工事					
K⑤	□ その他工事()					
小計(A) → 次表「一箇所あたりの補助対象工事費の上限額」の対象となる工事費の小計。ただし、次表の額が上限額。				1,094,493		
K⑥	□ 食器収納庫、食料品貯蔵庫の設置工事(増設する調理室内又はこれに隣接して設置されたもの)					
K⑦	□ 食器棚の設置工事					
K⑧	□ ビルトイン食器洗浄機の設置工事					
小計(B) → 小計(A)に上限額の対象とならない工事費を含めた工事費の小計。				1,094,493	◆	

補助対象となる工事について、すべて入力してください。

工事内容に応じた一箇所あたりの補助対象工事費の上限額

ミニキッチン以外のキッチンを設置するもの	1,500,000 円
ミニキッチンを設置するもの ※1	434,700 円

それぞれ、設置の有無を選択してください。

番号	対象となる工事の内容	何れかを選択「設置する」「設置しない」	何れかを選択「設置する」「設置しない」	工事内容明記の図面名・番号	工事別補助対象工事費(円)	工事内容・工事費の内訳書記載頁	工事完了時建築士チェック欄
浴室の増設工事							
⇒浴槽を 設置する ⇒給湯設備を 設置しない							
Y①	■ ユニットバス設置工事、浴槽又はシャワー設備設置工事			平面図	428,098	11	□ 通 □ 否
Y②	□ 給排水設備工事 □ 換気設備工事 □ ガス工事 □ 給湯設備設置取付工事						
Y③	□ 電気工事 □ 照明設備工事						
Y④	□ 内装・下地工事						
Y⑤	□ 浴室内の手洗い、タオル掛け、手すり等の設置工事						
Y⑥	□ その他工事()						
小計(A) → 次表「一箇所あたりの補助対象工事費の上限額」の対象となる工事費の小計。ただし、次表の額が上限額。				428,098			
Y⑦	□ 脱衣所の増設工事						
小計(B) → 小計(A)に上限額の対象とならない工事費を加算した工事費の小計。				428,098	◆		

工事内容に応じた一箇所あたりの補助対象工事費の上限額

浴槽を設置し、給湯設備を設置するもの	1,406,000 円
浴槽を設置し、給湯設備を設置しないもの	837,800 円
浴槽のないシャワー室を設置するもの ※2	589,300 円

※2 リフォーム後に浴槽を有する浴室が別に設置されていること。

番号	対象となる工事の内容	工事内容明記の図面名・番号	工事別補助対象工事費(円)	工事内容・工事費の内訳書記載頁	工事完了時建築士チェック欄
便所の増設工事					
B①	■ 便器設置工事	平面図	113,234	12	□ 通 □ 否
B②	□ 給排水設備工事 □ 換気設備工事				
B③	□ 電気工事 □ 照明設備工事				
B④	□ 内装・下地工事				
B⑤	□ 便所内の手洗い、トイレペーパーホルダー、タオル掛け、手すり、収納等の設置工事				
B⑥	□ その他工事()				
小計(A) → 次表「一箇所あたりの補助対象工事費の上限額」の対象となる工事費の小計。ただし、次表の額が上限額。			113,234	◆	

工事内容に応じた一箇所あたりの補助対象工事費の上限額

工事内容の区分無し	532,100 円
-----------	-----------

玄関位置を選択し、土間面積を入力してください。

番号	対象となる工事の内容	何れかを選択「地上階」「地上階以外」	何れかを選択「地上階」「地上階以外」	工事内容明記の図面名・番号	工事別補助対象工事費(円)	工事内容・工事費の内訳書記載頁	工事完了時建築士チェック欄
玄関の増設工事							
⇒玄関の位置 地上階 ⇒土間の面積 1.37 m²							
G①	■ 玄関ドア設置工事 □ 開口部の躯体工事			平面図、立面図	162,140	11	□ 通 □ 否
G②	□ 玄関土間敷設工事						
G③	□ 電気工事 □ 照明設備工事 □ インターホン設置工事						
G④	□ 内装・下地工事						
G⑤	□ 上層階玄関等への外階段設置工事						
G⑥	□ 下駄箱、手すり等の設置工事						
G⑦	□ その他工事()						
小計(A) → 次表「一箇所あたりの補助対象工事費の上限額」の対象となる工事費の小計。ただし、次表の額が上限額。				162,140			
G⑧	□ 郵便受け設置工事						
小計(B) → 小計(A)に上限額の対象とならない工事費を含めた工事費の小計。				162,140	◆		

工事内容に応じた一箇所あたりの補助対象工事費の上限額

地上階に玄関を増設するもの	655,300 円
地上階以外の階に玄関を増設するもの	1,244,500 円

三世帯同居対応改修工事の補助対象工事費 **1,797,965** (上記各増設工事費◆の合計) →様式6 Mに記入

- (注意事項)
- 増築部分に調理室等を増設する場合は、その増設費用(増築に係る躯体工事費は含まない)のみの額とし、全体に係る現場管理費、値引き等は按分した額を含めて記入してください。
 - 改修工事箇所毎の番号を設計図及び工事費の内訳書にも必ず記載して、上記に記載した改修工事の箇所が特定できるよう明確にしてください。
- (注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式5の3）記入例

<認定長期優良住宅型・補助率方式、高度省エネルギー型・補助率方式>

リフォーム工事完了後、記載されたとおりにリフォームが行われたことを建築士が現地確認等する必要があります
(交付申請時には未入力で提出してください)

様式5の3

事業タイプ	高度省エネルギー型
-------	-----------

交付申請番号	年度	事業者番号	住宅番号
03	28	XXXXXX	001

子育て世帯向け改修工事内容一覧表（補助率方式用）

子育て世帯向け改修工事

※若者・子育て世帯の要件に該当する場合、申請することができます。

記号	番号	リフォーム工事箇所	リフォーム工事内容 (仕様、工事の方法を記載)	工事内容明記の図面名・番号	工事別補助対象工事費(円)	工事内訳書記載頁	工事完了時建築士チェック欄
ア		台所	キッチンへの交換工事	平面図	18,000	26	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
イ	①	台所	キッチンへの交換工事(対面形式)	平面図	1,500,000	27	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
ウ	①	外部	外部インターホン前の照明設備設置工事	平面図	48,000	28	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
ウ	②	玄関	防犯性強化のための玄関ドア交換工事	平面図・立面図	440,000	29	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
カ	①	2階寝室-2	電気スイッチ交換工事	平面図	5,000	30	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
ケ	①	台所	壁の防汚仕上の貼替工事	平面図	60,000	31	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
							<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
							<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
							<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
上記合計					2,071,000	→様式6 11欄に記入	

(注意事項)

1. 工事別補助対象工事費は、全体に係る現場管理費、値引き等は按分した額を含めて記入してください。
2. リフォーム工事箇所毎の番号を設計図及び工事費の内訳書にも必ず記載して、上記に記載したリフォーム工事の箇所が特定できるように明確にしてください。
3. 「リフォーム工事の分野」には、リフォームの目的を以下にあげる分野の中から選択してその記号（ア～ケ）を記入してください。

リフォーム工事の分野一覧表

記号	分野	具体的なリフォーム工事の例	補助対象工事費(円)
ア	住宅内の事故防止	柱壁等の出隅等の衝突事故防止工事、転倒による事故防止工事、人感センサー付き玄関照明設置工事、転落防止手すり設置工事、ドアの指つめ防止対策工事、チャイルドフェンスの設置工事、感電防止工事	18,000
イ	子どもの様子の見守り	対面形式のキッチンへの移設・交換工事、間取り変更工事	1,500,000
ウ	不審者の侵入防止	防犯性強化工事	488,000
エ	災害への備え	家具の転倒防止(下地処理)工事、避難動線確保工事	0
オ	親子がふれあえる空間づくり	キッチンの広さ確保の為の工事、浴室の広さ確保の為の工事	0
カ	子どもの成長を支える空間づくり	子ども部屋確保の為の工事、トイレの広さ確保の為の工事、操作容易化工事、キッズスペースの設置工事	5,000
キ	生活騒音への配慮	外壁開口部の遮音性向上工事	0
ク	子育てに必要な収納の確保	収納の広さ確保の為の工事	0
ケ	家事負担の軽減	防汚仕上への変更工事、家事動線確保の為の工事、給湯設備の大型化工事、ビルトイン食器洗機設置工事、掃除しやすいレンジフード取付け工事、ビルトイン自動調理対応コンロ取付け工事、室内物干設置工事、乾燥機設置工事、掃除しやすいトイレ設置工事、宅配ボックス設置工事	60,000
合計			2,071,000

各リフォーム工事には、要件が設けられていることがありますので、「子育て世帯向け改修工事の内容」を本事業評価室事務局HPからダウンロードして確認してください。

また、住宅に固定されない家具、設備等は、子育て支援に有用なものであっても補助対象になりません(例 配線工事を伴わない防犯カメラ等)。性能・機能的に有用でないものも、補助対象にはなりません(例 子ども部屋の壁紙を子ども向けの柄に変更等)。子育て支援を目的とする工事に限り増築についても補助対象に含むことができる(例 浴室を大型化する場合、軸組工事、外壁、屋根、基礎の工事、及びユニットバス工事は対象に含むことができる)。

4. 「キッチンの移設・交換工事」、「キッチンの拡張工事」、「トイレの拡張工事」、「浴室の拡張工事」は、下記の一箇所あたりの補助対象工事費の上限額を超えて申請することはできません。「工事別補助対象工事費」の欄には、実工事費が上限額のいずれか低い方を記入してください。

工事内容に応じた一箇所あたりの補助対象工事費の上限額

記号	分野	工事内容	補助対象工事費の上限額	単位	備考
イ	子どもの様子の見守り	対面形式のキッチンへの移設・交換工事	1,500,000 円	円/箇所	上限額には食器収納庫、食料品貯蔵戸、食器棚、ビルトイン食器洗浄機の設置工事は含まない。
		キッチンの広さ確保の為の工事			
オ	親子がふれあえる空間づくり	浴室の拡張工事	1,406,000 円	円/箇所	給湯設備を増設する場合
		浴室の拡張工事	837,800 円		
カ	子どもの成長を支える空間づくり	トイレの拡張工事	532,100 円	円/箇所	

※上記の補助対象工事の上限適用にあたっては、「三世帯同居対応改修工事の内容」を準用する。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とします。

【R3】長期優良住宅化リフォーム推進事業

補助金交付申請書（様式5の4）記入例

<認定長期優良住宅型・補助率方式、高度省エネルギー型・補助率方式>

リフォーム工事完了後、記載されたとおりにリフォームが行われたことを建築士が現地確認等する必要があります
(交付申請時には未入力でも提出してください)

様式5の4

事業タイプ 何れかを選択 a, b, c, d, e, f, g	記号ごとに番号を振り、数字のみ入力してください (例) a-①、②、③ b-①、②、③	事業者番号 0000000	住宅番号 000
--	---	------------------	-------------

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

防災性の向上・レジリエンス性の向上改修工事の内容一覧表（補助率方式用）

記号	番号	リフォーム工事箇所	リフォーム工事内容 (仕様、工事の方法を記載)	工事内容明記の図面名・番号	工事別補助対象工事費(円)	工事内訳書記載頁	住棟番号	工事完了時 建築士 チェック欄
a	a-①	給水給湯管	給水給湯管の交換工事	平面図	150,000			<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
b	b-①	屋根	瓦の交換工事	屋根伏図	500,000			<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
f	f-①	雨水利用タンク	雨水利用タンクの設置工事	平面図	60,000			<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
								<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
								<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
								<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
								<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
								<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
								<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
上記合計					710,000			

記号と番号を、図面のリフォーム箇所に記入してください。
(例) a-①、b-②

工事内容ごとに工事費を入力します。
(非住宅部分は除いた額とし、全体に係る現場管理費・値引き等は按分して計上してください。)
※税抜き・円単位で入力

- (注意事項)
- 工事別補助対象工事費は、全体に係る現場管理費、値引き等は按分した額を含めて記入してください。
 - リフォーム工事箇所毎の番号を設計図及び工事費の内訳書にも必ず記載して、上記に記載したリフォーム工事の箇所が特定できるように明確にしてください。
 - 上記表の「記号」には、リフォームの目的を以下にあげる分野の中から選択してその記号(a~g)を記入してください。

防災性の向上改修工事の分野一覧表

	記号	分野	具体的なリフォーム工事の例	補助対象工事費(円)
防災性の向上	a	地震災害への備え	建物の揺れや損傷を軽減するための工事、瓦の交換工事、避難動線確保工事、家具の転倒防止(下地処理)工事、地震による設備配管の損傷を軽減するための工事	150,000
	b	台風(風災害)への備え	開口部(窓)の強風対策工事、瓦の交換工事	500,000
	c	水害への備え	大雨による浸水対策工事	0
	d	火災への備え	外壁開口部の防火性能向上工事、火災対策工事	0
合計				650,000

様式6の01欄へ記入してください！

レジリエンス性の向上改修工事の分野一覧表

	記号	分野	具体的なリフォーム工事の例	補助対象工事費(円)
レジリエンス性の向上	e	電力の確保	災害時の電力確保のための工事	0
	f	水の確保	災害時の飲料水、生活水確保のための工事、災害時の生活水確保のための工事	60,000
	g	防災備蓄のためのスペースの確保	防災用品置き場スペース確保のための工事	0
合計				60,000

様式6のVI欄へ記入してください！

4. 「蓄電池設置工事」は、下記の一箇所あたりの補助対象工事費の上限額を超えて申請することはできません。「工事別補助対象工事費」の欄には、実工事費か上限額のいずれか低い方を記入してください。

	記号	分野	工事内容	補助対象工事費の上限額	単位	備考
レジリエンス性の向上	e	電力の確保	蓄電池設置工事	①1kwhあたり	60,000円	円/箇所 ①または②のいずれか小さい方を適用 蓄電池設置に係る附帯設備、配線等の工事費を含む
				②システム全体	600,000円	

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

補助金交付申請書（様式6）記入例 ＜認定長期優良住宅型・補助率方式、 高度省エネルギー型・補助率方式＞

補助対象工事が含まれる契約のみ契約額を入力してください

当初の契約は①の欄に入力してください

変更契約がある場合は②の欄以降に全て入力してください

加算の対象に該当する場合は、チェック（■）を入れてください

・該当する欄に住戸数を入力してください
・共同住宅、長屋の一棟申請の場合は、様式4の住戸数②を入力してください

契約の種類		契約額 (円)
①: 工事請負契約 (インスペクション等が含まれていても可)		16,500,000
②: ①以外の契約		380,000
③: ①②以外の契約		
④: ①～③以外の契約		
⑤: ①～④以外の契約		
⑥: ①～⑤以外の契約		
⑦: ①～⑥以外の契約		
契約額の合計		16,880,000

事業タイプ	評価基準型提案型	認定長期優良住宅型提案型	高度省エネルギー型
性能向上のみ	戸 (1,000千円/戸) 加算がある場合 (1,500千円/戸)	戸 (2,000千円/戸) (2,500千円/戸)	戸 (2,500千円/戸) (3,000千円/戸)
三世帯同居対応改修のみ*	戸 (500千円/戸)	戸 (500千円/戸)	戸 (500千円/戸)
性能向上+三世帯同居対応改修	戸 (1,500千円/戸)	戸 (2,500千円/戸)	1 戸 (3,000千円/戸)
補助限度額の合計		3,000 千円 A 上記のうち性能向上リフォーム分	500 千円 B 上記のうち三世帯同居対応改修分
補助限度額の合計		3,000 千円 U	

補助対象となる費用	契約額 (円)	補助対象額 (円)	補助対象額の算定	補助対象額 (円)
インスペクション費用★	30,000	150,000	150,000	30,000
リフォーム計画の作成費用	10,000	60,000	60,000	10,000
建築士による適合確認費用★	55,000	60,000	60,000	55,000
長期認定取得に要する費用	19,000	60,000	60,000	
BELS評価書取得に要する費用	27,000	30,000	30,000	
建築士による工事内容確認費用★	50,000	60,000	60,000	
維持保全計画書作成費用	10,000	30,000	30,000	
リフォーム瑕疵保険の保険料(検査料含む)	49,000	30,000	30,000	
合計	320,000			272,000

施工業者が交付申請者の場合は、保険の仕組み上発注者直接払いは選べません。

補助対象とする場合に入力してください

「発注者直接払い※1」を除き契約書の添付が必要です

項目	補助事業に要する経費 (千円)	申請額算定用小計 (千円)	交付申請額小計 (千円)
特定性能向上リフォーム工事費 (ユニットバス設置工事費を除く)	C1 (様式5より) 7,121	C2=C1×1/3 2,373	
ユニットバス設置工事費	D (様式5より) 379	D2=D1×1/3 126	42
特定性能向上リフォーム工事費 (小計)	E1=C1+D1 7,247	E2=C2+D2 2,415	
その他性能向上リフォーム工事費 (高断熱浴槽設置工事費を除く)	F1 (様式5より) 7,121	F2=F1×1/3 2,373	
高断熱浴槽設置工事費	G (D) (様式5より) 379	G2=G1×1/3 126	42
性能向上リフォーム工事費 (小計)	H1=F1+G1 7,247	H2=[E2]か[F2+G2]のいずれか低い額 2,415	
防炎性の向上改修工事費 (小計)	I1 (様式5の3より) 2,071	I2=I1×1/3 690	
レジリエンス性の向上改修工事費 (小計)	O1 (様式5の4より) 650	O2=O1×1/3 216	
インスペクション等に要する費用	J (様式5の4より) 60	J2=J×1/3 20	
性能向上リフォーム工事 (合計)	K1=E1+H1+I1+O1+J 17,487	K2=E2+H2+I2+O2+J2 5,826	L:[A]か[K2]のいずれか低い額以下 3,000
三世帯同居改修工事	M1 (様式5の2より) 1,797	M2=M1×1/3 599	N:[B]か[M2]のいずれか低い額以下 500
合計	19,284	交付申請額	3,000

様式5、5の2、5の3、5の4から転記されているか必ず確認してください

様式1に転記してください

1. 消費税等は除いた額を記入してください。
2. 千円未満は、切り捨て処理してください。
3. その他性能向上リフォーム工事の補助額 (H2) は特定性能向上リフォーム工事の補助額 (E2) を超えることはできません。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。